

第9回 長野市中心市街地活性化基本計画評価専門委員会 議事録

日時 平成22年11月30日(火)

午後1時30分から

場所 第2庁舎 第18会議室

【出席者】

	氏名
委員 (6名)	市川浩一郎委員、金澤玲子委員、越原照夫委員、石川利江委員、渡辺晃司委員、樋口敦子委員 (欠席:高木直樹委員、野崎光生委員)
事務局 (5名)	横山まちづくり推進課長、松橋中心市街地活性化対策室長、瀧澤係長、長谷川主査、轟補佐(まちづくり推進課整備担当)

1. 開会

2. まちづくり推進課長あいさつ

3. 委員長あいさつ

4. 議事

(1) 数値目標の最新数値について

<資料1> (説明者:事務局)

(委員)

- ・自転車の通行量が多少増えているが、要因は、
- ・一般的には近場の人の移動と思われる。15分から20分位歩く範囲を自転車で移動したのでは。
- ・目標値の達成はかなり厳しい。特に「住みたくなるまち」は厳しいと思われる。どのように考えているか。

(事務局)

- ・不況の影響で建設予定であったマンションが白紙になり、現実的には厳しい。善光寺界限では、その場所に住むという観点から、民間レベルでいろいろな団体が活動を始めている。中心市街地全体をみすえて民間団体と協働し「まちなか居住」を考えていきたい。

(委員)

- ・「参加したくなるまち」について。生涯学習センターの利用者数が倍になっているがTOiGOは全体の活気に繋がらない。TOiGOの1,2階の方々と生涯学習センターの連携はあるのか。銀座商店街も野菜市を出したりしているが、そこの連携は取れているのか。TOiGO全体を元気にする仕掛けをして欲しい。
- ・TOiGOは人が大勢集まると、食事をする場所も不足してくる。バランスが悪い施設となっている。
- ・TOiGOに関して、市でも検討してもらいたい。

(事務局)

- ・TOiGO施設商業委員会があり、市も出席している。

(委員)

- ・もんぜんぷら座と生涯学習センターの利用者の内訳は？

(事務局)

- ・もんぜんぷら座は平年並み。生涯学習センターが伸びている。もんぜんぷら座はH21年度、289,000人。生涯学習センターはH20年度が77,000人で、H21年度が165,000人。

(2)基本計画の変更について

<資料2> (説明者:事務局)

<資料3> (説明者:まちづくり推進課)

(委員)

・新田町に建設予定だったマンションが中止になった。見込んでいたマンションの居住人口と交流施設に訪れる交流人口はどのくらいか。

(まちづくり推進課)

・単身用が64戸、世帯用が12戸で合計100人程度、交流人口としては児童用デイサービスは送迎で10人前後、障害者用住宅も単身用なので4~5人程度を見込んでいた。

(委員)

・50.新田町地区優良建築物等整備事業は中止、54.権堂 B-1 地区再開発事業は延期ということか。

(事務局)

・50.新田町地区優良建築物等整備事業は中止、54.権堂 B-1 地区については、現時点で、再開発事業自体がなくなったわけではないので、今後、事業内容が決まり次第、変更となる。

(委員)

・暮らしにぎわい再生事業で取組み、この事業を3年がかりでやってきた事を理解しているのか。権堂が3年近くやってきた事はなんだったのか。

・建設検討委員会やワークショップが1年間やってきた事が理解されていない。行政の説明不足もあるのではないかと。今後の事を考えると、早い段階から説明をしていった方が良い。

・権堂 B-1 地区の公共施設についても、庁内の検討も必要だが、ぜひ、市民と話し合う場を作って欲しい。また、ソフトを先行させ、ソフトを考えながら、建物にいくという手法でやってほしい。

・中心市街地活性化の目的が理解されていないのではないかと。中心市街地を活性化しようというのは市の方向性としてしっかりしたはず。

(3)基本計画のフォローアップについて

<資料4> (説明者:事務局)

目標 「訪れたいまち」について

(委員)

・質問、意見なし

目標 「住みたいまち」について

(委員)

・日本都市計画家協会の空き家問題研究会が、全国的に、空き家をどうやって使っていくのか、大きな問題と感じて、いろんなジャンルの人(都市計画家、建築家、行政)の動きが始まっている。

・フランスは行政が主導して、空き家に古本屋を入れて、本の町で小さな観光地として、再生したところもあるらしい。今までとは違う空き家の利用を考えていっても良いのではないかと。

・集積として誘導できないか。点で存在すると、なかなか町が活性化できないので、市が入って先導できないか。

・まちづくり長野にも協力してもらって、何か一つでも動き出せばよい。

(事務局)

・住む場所の提供も必要だが、周辺の環境整備も必要。住みやすい環境整備を進めていきたい。

目標 「歩きたいまち」について

(委員)

・H20,H21,H22 と景気の悪い中、H20 を底に伸びつつあるが、目標に対しては、かなりの開きがある。

・調査日だけでなく全体的に中心市街地や中央通りを見たり歩いたりした感じはどうか？

(事務局)

・場所によって差はあるが、活性化しているという感覚は持っている。

(委員)

- ・善光寺周辺は伸びていると思うが、売り上げは厳しい。
- ・観光地になって、人が集まるようになって、買いたい物がある仕組みがあると良い。
- ・軽井沢のアウトレットも本丸が来ている。このままではファッション関係が長野に残らなくなってしまふ。
- ・みんな情報を持っているので、長野のデパートレベルでは満足できない人が増えている。
- ・しかし、生鮮3品というのは、そういう訳にいかない。
- ・商店にも頑張ってもらいたい。

目標「参加したくなるまち」について

(委員)

- ・目標値を上方修正する事はないのか？
- ・長野市はこの施設に関して行政視察をかなり受けたか？

(事務局)

- ・目標値の修正は現在は考えていない。
- ・もんぜんぷら座の行政視察は非常に多い。

総括について

(委員)

- ・ウエストプラザとA-3は繋がったが回遊性は良くなったのか？

(事務局)

- ・現在も往来はあるが、駅まで繋がる事で駅周辺全体の回遊性は更に良くなると思う。

5. 事務連絡

6. 閉会